

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	日本海の玄関口の地位確立に向けた北アルプス山麓魅力向上	
事業主体 (連絡先)	長野県商工会連合会北安曇支部広域協議会 (長野県商工会連合会中信チーム 中村英雄 0263-47-8880 (連絡窓口 小谷村商工会 吉田三郎 0261-82-2888)	
事業区分	主となる区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業
	関連する区分	ア特色ある観光地づくり オその他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト	
総事業費	355,787円 (うち支援金 219,000円)	

事業内容

(1) 新幹線延伸先の北陸方面とのパイプづくりと商工団体による交流

「北陸圏との産業交流セミナー」の開催

- ・時期 平成25年8月19日(月)
- ・会場 北安曇郡松川村 すずの音ホール
- ・参加者 60名(商工会関係者、県・市町村関係者 ほか)

テーマ① 「長野県産業の環日本海交流圏における展開の可能性」

講師 信州大学名誉教授、法政大学大学院教授 樋口一清氏

テーマ② 「富山県の観光・ものづくりについて」

講師 富山県商工労働部長 小城慎治氏



↑北陸圏との産業交流セミナーの様子



↑講演を聴く商工会、県、市町村等関係者



↑講演を行う信州大学名誉教授 樋口一清氏



↑講演を行う富山県商工労働部長小城慎治氏

(別記様式第12号) (第3の8関係)

(2) 新幹線延伸先の商工団体と交流会を開催(2回)

ア 富山県商工会連合会・商工会との交流会(平成25年4月24日)

北安曇支部広域協議会傘下の商工会の役職員

富山県商工会連合会、高岡市商工会、立山舟橋商工会の役職員(19名)



↑富山県商工会連合会等との交流会



↑富山県県庁で説明を受ける

イ 糸魚川市商工団体との交流会(平成26年2月17日)

北安曇支部広域協議会傘下の商工会の役職員

糸魚川商工会議所、能生商工会、青海町商工会の役職員(31人)



↑糸魚川駅整備の状況の説明を市都市整備課から受ける



↑新幹線開業に向け整備が進む糸魚川駅



↑増加する荷扱い量をふまえ整備が進む姫川港



↑糸魚川市の糸魚川商工会議所、能生商工会、青海町商工会と懇談会を開催

※1 自己評価(事業実施率)【A】

(別記様式第12号) (第3の8関係)

(3) 委員会等

- ア 平成25年6月21日
日本海の玄関口の地位確立に向けた北アルプス山麓魅力向上事業打合せ会議 (9名)
- イ 平成25年8月19日
北安曇「元気づくり支援金」事業推進委員会 (10名)

事業効果

- (1) 富山県・糸魚川地域の商工団体との情報の共有化、人脈づくりができた。
- (2) セミナーの開催、委員会での協議等を通じ、商工会として北陸圏・日本海側との交流による地域産業の振興とそれに係る課題等について研究し、検討する契機となった。(港湾施設の活用、新たな観光ルートの開拓など)

【目標・ねらい】

- ・平成26年度末の新幹線の金沢延伸によって、大北地域の観光をはじめ産業全体に人や物の新たな流れが形成される。
- ・特に北陸・関西方面からの玄関として位置づけが明確になる。
- ・このことを、大北地域の産業振興にとってビッグチャンスと捉え、将来を見据えた大北地域の観光をはじめ産業全体の振興策を探る。

※2 自己評価 (事業効果) 【A】

今後の取り組み

新幹線糸魚川駅と大糸線との連絡の見込、松本糸魚川連絡道路の進捗の見込等をふまえ、北安曇地域の観光を始めとした地域商工業者の経営力の向上を図るためセミナー等を開催していく。また、北陸圏・新潟県の商工団体との交流を引き続き進めていく。

※1 自己評価 (事業実施率) 欄は、「A」90%以上、「B」70~89%、「C」50~69%、「D」49%以下で示すこと。

※2 自己評価 (事業効果) 欄は、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある